

THE  
G  
A  
N  
D  
P  
R  
I  
M  
A  
R  
Y

マクール攻略データLABOもフル活用!!

第39回

# グランプリ

12/17(水)▶22(日) ボートレース住之江



今年の年末決戦は、かつてないほどの混戦ムード。賞金1・2位の馬場貴也と毒島誠にはまだ“金ヘル”実績がない。その一方で、久々にSGを制した桐生順平と茅原悠紀には勢いがある。しかし今年はSG無冠の峰竜太が最後に意地を見せるのか？そして2021→22年とトライアル1st組が連覇したように、7位以下でも波に乗れば一気に台頭してくる。まれに見る大激戦模様だ!!

注：本文中の一部で、グランプリを「GP」、同シリーズ戦を「GPS」、トライアルを「TR」と省略しています。



# 馬場と毒島には未踏の頂上! 久々SG獲得の茅原と桐生 新風を吹き込む!! 定松と関

表1 出場18戦士の2024年・賞金順位の変遷

順位	登番	選手名	支部	5/31 順位	8/26 順位	11/24時点の 獲得賞金額
1	4262	馬場 貴也	滋賀	4	5	¥148,701,833
2	4238	毒島 誠	群馬	1	1	¥126,213,033
3	4444	桐生 順平	埼玉	14	13	¥118,277,333
4	4418	茅原 悠紀	岡山	20	3	¥109,653,333
5	4320	峰 竜太	佐賀	6	9	¥104,026,333
6	3941	池田 浩二	愛知	25	10	¥102,463,000
7	3960	菊地 孝平	静岡	3	2	¥101,851,000
8	4337	平本 真之	愛知	7	11	¥101,463,466
9	4445	宮地 元輝	佐賀	13	7	¥95,903,333
10	4362	土屋 智則	群馬	-	4	¥95,881,333
11	5121	定松 勇樹	佐賀	2	6	¥95,463,000
12	4851	関 浩哉	群馬	18	17	¥93,076,760
13	4494	河合 佑樹	静岡	-	-	¥85,515,000
14	3415	松井 繁	大阪	16	16	¥82,950,000
15	4371	西山 貴浩	福岡	9	14	¥80,604,333
16	4573	佐藤 翼	埼玉	-	-	¥78,479,000
17	3783	瓜生 正義	福岡	5	15	¥76,617,999
18	4719	上條 暢嵩	大阪	8	12	¥74,217,000

\*「-」は31位以下

表2 グランプリ・2ステージ制になった第29回以降の優勝選手

回	年	開催場	1着	コース	3連単	配当	決まり手
29	2014	平和島	茅原 悠紀	6	⑥④①	51680円	差し
30	2015	住之江	山崎 智也	1	①③②	2050円	逃げ
31	2016	住之江	瓜生 正義	1	①④②	2290円	逃げ
32	2017	住之江	桐生 順平	1	①②③	940円	逃げ
33	2018	住之江	峰 竜太	1	①⑤③	2220円	逃げ
34	2019	住之江	石野 貴之	1	①②④	730円	逃げ
35	2020	平和島	峰 竜太	1	①③⑥	1900円	逃げ
36	2021	住之江	瓜生 正義	3	④⑤	不成立	まくり
37	2022	大村	白井 英治	1	①⑥④	6530円	逃げ
38	2023	住之江	石野 貴之	1	①③④	1160円	逃げ

\*青字は1stからの優出選手

**最後のGP切符は河合へ**  
2024年の頂上争いを簡単に振り返っておこう(表1参照)。春から夏にかけてトップを快走したのが毒島誠。クラシックを制覇後、8月末まで1位をキープした。それを逆転したのがモリアルで連覇を飾った馬場貴也だ。ただこの両者は、まだグランプリで優勝したことがない。未踏の領域に挑戦する。

今年、久々にSG制覇の美酒を味わったのが茅原悠紀と桐生順平で、賞金でも3・4位に続く。峰竜太はひと息の感があったが、それでも5位。秋に追い上げた池田浩二が6位で、ここまでがトライアル2ndからの登場となる。

菊地孝平・定松勇樹・土屋智則らは、夏場から少しランクを下げ

て1stからの出走となった。関浩哉は初出場を飾り、松井繁が4年ぶりに復活してきた。

そして最後の関門・チャレンジカップで河合佑樹と佐藤翼が滑り込み、最後のGP切符を手にした。

**1st組の一気に駆けも!?**  
続いて表2を見ていただこう。グランプリが2ステージ制になった初回の14年(第29回)こそ大荒れになったが、その後、最上位エンジン6機が2nd組に提供されることになってアドバンテージが拡がり、2nd組が逃げて快勝という優勝戦が6年続いた。

しかし21年(第36回)は1stから進出した瓜生正義がまくり切って大波乱! 一昨年の22年(第37回)も同じく1st組の白井英治が2ndでもトップの得点を得て

快勝。昨年は再び2nd組の平穩決着で収まったが、初日から実戦に乗って調整できる1st組が勢いに乗ると怖い。



2021年に1stから頂点を極めた瓜生正義

# THE GRAND PRIX

## 39th in Boat Race SUMINOE

**必中!**  
本誌スタッフが  
狙うのは  
この選手!!

**Sに不安なし!** 茅原悠紀

編集長 渡辺将司

オーシャンカップで14年のグランプリ以来、2度目のSG制覇を果たした茅原に◎。前期F2の足かせは重い、逆にそのことが集中力を高めたように映る。11月の住之江GI高松宮記念では準パーフェクトで優勝。スタートの不安は皆無と見た。ダービーを制した桐生も久々のSG優勝。イン以外でも1着が取れることが強み。抽選運が向けば、一気に突っ走る可能性も十分だ。

穴には近況の充実度で佐藤翼を推す。ダービーの準V以降の活躍は周知の通り。初出場というのを逆に強みにして、果敢なレースに期待する。そして地元期待は上條暢嵩。地元選手が活躍するSGほど盛り上がるものはない。まずは1stを突破して勢いをつけたい。

表3-1

渡辺将司の指名選手

評価	選手名
◎	茅原 悠紀
○	桐生 順平
△	峰 竜太
×	宮地 元輝
穴	佐藤 翼
大穴	上條 暢嵩



茅原悠紀は高松宮記念を準パーフェクトV



17年に住之江でGPを制している桐生順平

表3-2

上杉雄太の指名選手

評価	選手名
◎	桐生 順平
○	茅原 悠紀
△	馬場 貴也
×	菊地 孝平
穴	西山 貴浩
大穴	関 浩哉



昨年の雪辱を果たす関浩哉に大穴を期待

表3-3

ヤマケイの指名選手

評価	選手名
◎	菊地 孝平
○	毒島 誠
△	茅原 悠紀
×	池田 浩二
穴	平本 真之
大穴	関 浩哉



82期に賞金王の足跡を残す!! 菊地孝平

ひまひまデータに丸ノリ!

副編集長 上杉雄太

ちょうど1年前、本誌「ひまひまデータオフライン」にて、グランプリ18人制移行後の傾向を探った。それによると、最も優勝者を出しているのが選出3位の3人。2人が1位と2位。1人が2位と7位。やはりベスト6が多く、しかも1〜3位がほとんど。13位以下からはまだ優勝者が出ていない。また不思議と4位の成績が芳しくなかったのだが、昨年、そのジंकスが打ち破られた。

ということで、私の本命は3位の桐生順平。GI選出除外期間がありながらもここまで賞金を稼いだ精神力はアツパレ。2度目のVヘリズムは良好だ。大穴は昨年のGPシリーズ優勝戦1号艇で涙をのんだ関浩哉が12位の波に乗って大リベンジを果たすシナリオでどうか。

1stの7・8位に注目!!

主筆 ヤマケイ

今年は、東高西低、模様。18人のうち関東が5人、東海が4人で計9人と半分を占める。そしてこの数年、1st組の活躍が光る。本命は7位の菊地孝平に期待。1stの1回戦は1号艇で出走し、ここを快勝して波に乗る。精鋭揃いの82期はまだ賞金王に届いていないのは不思議だ。

対抗は群馬のエース・毒島誠。先輩の山崎智也も住之江が苦手で、賞金王制覇まで約20年かかったが、毒島にも住之江克服の日が来る。池田浩二は6位まで上げてきた地方に感服。平本真之は住之江開催のGPで3回連続優出中。昨年1st勢でただひとり優出しており、今年も穴で期待。西の戦士では、前付けからチルト3の大穴まで変幻自在の茅原悠紀が楽しみ。

# マクールAIレーダー

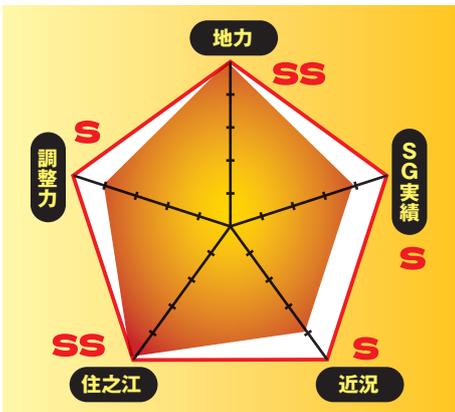


トライアル

# Trial 2nd組

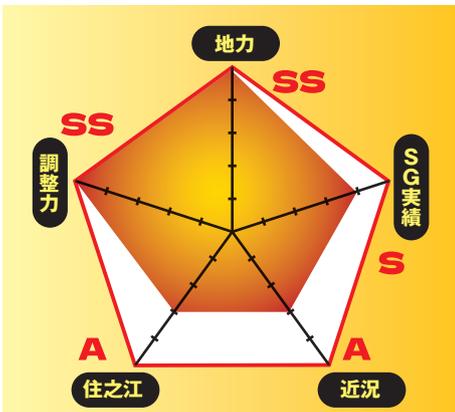
# 出場選手の力をAI分析

※各選手の[勝率]集計期間 24年：2024/1/1～11/24 近況：2024/9/1～11/24 住之江：2021/11/25～2024/11/24



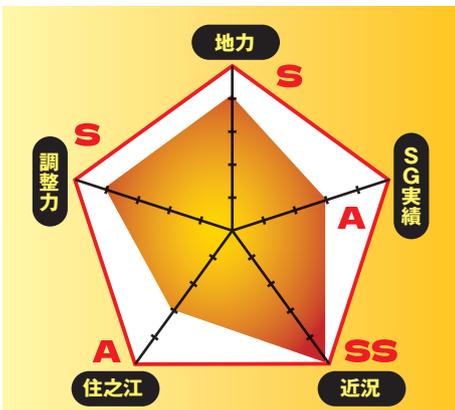
**1位** 馬場 貴也(滋賀)

[勝率]24年:7.40 近況:7.54 住之江:8.26  
 “湖国のスピードスター”は充実著しい。22年はMVP(賞金は2位)、昨23年は賞金3位、そして今年も賞金1位でGPを迎える。メモリアルを連覇してダービーも優出とリズムも上々。住之江は昨年の地区選、今年の68周年を圧勝。死角はほぼなく、悲願の初の賞金王が見えてきた。



**2位** 毒島 誠(群馬)

[勝率]24年:7.87 近況:7.47 住之江:7.22  
 クラシックを快勝後、オールスターでも優出。7月にGII甲子園も制して賞金トップを8月末までキープ。秋はダービーで優出③も、春に比べると少しペースダウン。現役屈指のナイター巧者で整備力もトップクラスだが、住之江との相性はひと息の感。準優が壁になっている。

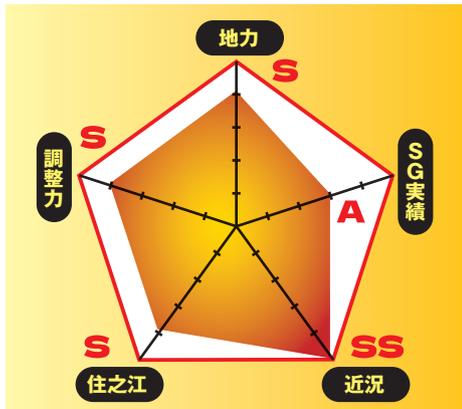


**3位** 桐生 順平(埼玉)

[勝率]24年:7.72 近況:8.50 住之江:8.15  
 地元・戸田のダービーで、目の覚める素晴らしいツケマイを敢行、17年の住之江GP以来6年10か月ぶりのSG優勝を飾った。コースを問わず、不利枠でも大敗が少ないのがこの選手の強み。ジワジワと仕上げるタイプで短期決戦向きとは言い難いが、リズムに乗っている今なら怖い。

# THE GRAND PRIX

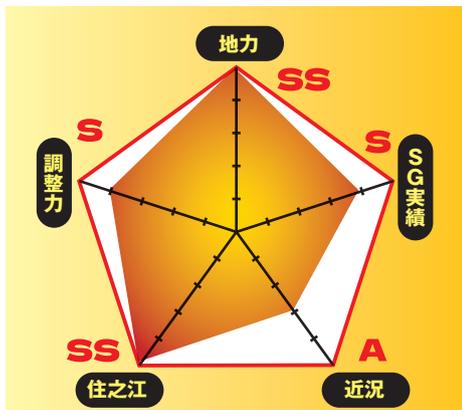
## 39th in BoatRace SUMINOE



**4位 茅原 悠紀 (岡山)**

**[勝率] 24年:7.82 近況: 住之江:8.36**

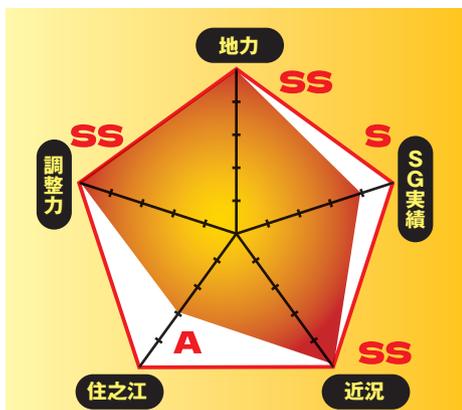
昨年はSG優出5回を重ねたが、ようやく今年7月のオーシャンカップで9年7か月ぶり2個目のSGを獲得。感涙に浸った。そしてこのGPの前哨戦ともいえる、11月の高松宮記念で準パーフェクトVを飾り強烈なインパクトを与えた。対戦相手次第で前付けや大外ダッシュを選択。



**5位 峰 竜太 (佐賀)**

**[勝率] 24年:8.31 近況:8.46 住之江:9.26**

今年は9回目の年間勝率トップペースも、SGでは出番がほとんどなく、優出はダービー④のみ。それでもGI優出ラッシュで賞金ランクは5位前後をずっとキープしてきた。住之江での勝率は断然の最上位。21年GPでの妨害失格の印象こそ大きい、それ以外は常に好走している。



**6位 池田 浩二 (愛知)**

**24年:8.01 近況:7.74 住之江:7.09**

円熟のテクニックは説明不要。年間勝率では峰に次ぐ2位。ギリギリと賞金順位を上げ、夏場にベスト10入り。そしてチャレンジカップの優出で6位まで上げ、2nd入りを果たす。住之江では2回のGP制覇があるが、最近では走る機会が少なく、この2年間で走ったのは1節だけ。

表4-1 TR2ndの着順点

着	点
1	10
2	9
3	7
4	6
5	5
6	4

表4-2 最近6年間のTR2nd・優出のボーダーライン

年	6位の選手	得点率	着順	得点
2018	菊地 孝平	7.00	5 3 2	21
2019	吉川 元浩	6.67	1 5 5	20
2020	松井 繁	7.00	5 2 3	21
2021	毒島 誠	7.33	4 4 1	22
2022	馬場 貴也	7.33	4 4 1	22
2023	茅原 悠紀	7.00	1 3 6	21

2nd組の優位は縮小傾向  
優出のためには大敗は禁物

TR2ndは3回戦制。1回戦は賞金順に好枠を与えられるが、2・3回戦は抽選。着順点は表4-1の通り。2nd組の優位は小さくなってきている。

2ndから優出するためには「5・6着に大敗しないこと」が近道。22年の白井英治は「223」着と1着なしで得点率1位、1号艇を得て優勝している。優出のボーダーラインはひとまず21点(平均3着)以上が目安となる。



# 出場選手の力をAI分析

## マクールAIレーダー!!

### トライアル

# Trial 1st組

## 10位 土屋 智則(群馬)



**[勝率]**  
 24年:7.06  
 近況:6.65  
 住之江:6.31

2年連続SG制覇。チャレンジカップでも優出して順位を上げた。安定感はひと息も、波に乗ると怖い。住之江ではひと息の感。

## 11位 定松 勇樹(佐賀)



**[勝率]**  
 24年:7.08  
 近況:7.43  
 住之江:7.00

20代選手ただひとりの出場。オールスターでは一気に優勝まで突走った。住之江は2節しか走っていないがともに優出。

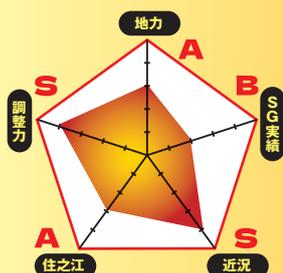
## 7位 菊地 孝平(静岡)



**[勝率]**  
 24年:7.32  
 近況:6.96  
 住之江:7.42

今年前半は賞金ランク2位まで上げたが、夏以降少し順位を下げた。住之江ではいつも好走。スタートも平均ST.10と抜群。

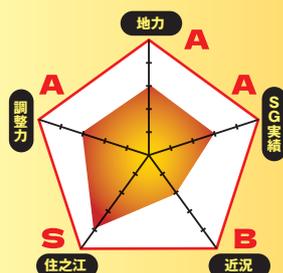
## 12位 関 浩哉(群馬)



**[勝率]**  
 24年:7.42  
 近況:8.28  
 住之江:6.50

昨年のGPシリーズでは1号艇で優出もスタートで遅れて苦杯。今年はBBCトーナメントとヤングダービー、二つのPG Iを制覇。

## 8位 平本 真之(愛知)



**[勝率]**  
 24年:6.97  
 近況:6.63  
 住之江:7.39

今年是一般戦の優勝さえゼロなのにSGで3優出。派手に勝ちまくるわけではないが、相手なりに走る典型的なタイプといえる。

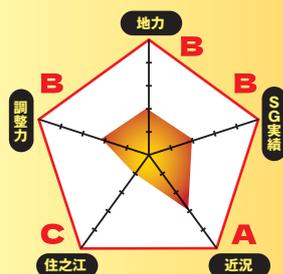
## 13位 河合 佑樹(静岡)



**[勝率]**  
 24年:7.45  
 近況:7.47  
 住之江:6.26

今までの実績はGIひとつでチャレンジカップはSG初優出だったが、46位からの大下剋上に成功。ニックネームは「水上の貴公子」。

## 9位 宮地 元輝(佐賀)



**[勝率]**  
 24年:7.23  
 近況:6.94  
 住之江:5.38

一昨年のGPシリーズ優勝で一気にトップクラス入り。こころ一番での勝負強さが出てきた。ただ住之江では予選落ちが続く。

# THE GRAND PRIX

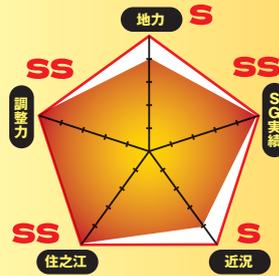
## 39th in BoatRace SUMINOE

18位 上條 暢嵩(東京)



**[勝率]**  
 24年:7.71  
 近況:7.29  
 住之江:7.53  
 前半の貯金で2回目の出場を果たす。大阪の次期エース候補筆頭だ。住之江の出走回数は断トツに多く、しかも回収率が高い。

14位 松井 繁(大阪)



**[勝率]**  
 24年:7.39  
 近況:7.42  
 住之江:7.37  
 過去の実績で断然なのは言うまでもない。津周年7回目の制覇など近況も上々で4年ぶりのGP復帰は見事。進入には警戒したい。

### TR 1stの1回戦メンバーは決定!!

獲得賞金がチャレンジカップ翌日に発表となり、それによってグランプリ初日のTR 1st 1回戦のメンバーも、表5-1、2のとおり決定した。2回戦は抽選となる。

1stの着順点は表5-3の通りで、1着の配点がとても大きいので、2ndへの進出は「1着を取ること」が最優先となる。当然ながら1号艇の利がとても大きい、ほぼ毎年、本番レースで進入から動く選手がいる。黙って枠なりになってもチャンスが非常に少ないため、思い切ったコース取りでかく乱を狙うのだ。その結果、20年には1st 4戦のうち2戦が万舟、21年は13万舟、22年にも4万舟と、しばしば大荒れの決着になっている。まさに穴党の出番だ。

表5-1 TR1st1回戦 初日(12月17日) 11R

艇番	選手名
①	平本 真之
②	宮地 元輝
③	関 浩哉
④	河合 佑樹
⑤	佐藤 翼
⑥	瓜生 正義

表5-2 TR1st1回戦 初日(12月17日) 12R

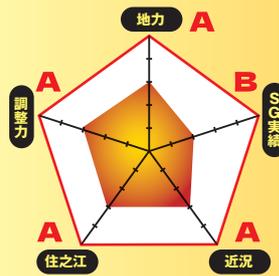
艇番	選手名
①	菊地 孝平
②	土屋 智則
③	定松 勇樹
④	松井 繁
⑤	西山 貴浩
⑥	上條 暢嵩

表5-3 TR1stの着順点

着	点
1	14
2	12
3	11
4	9
5	8
6	7

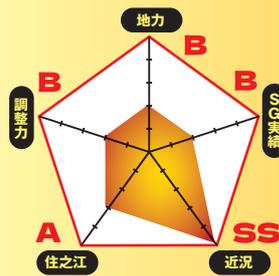


15位 西山 貴浩(福岡)



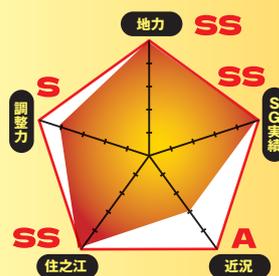
**[勝率]**  
 24年:7.58  
 近況:8.03  
 住之江:7.36  
 今年は九州のGIを2勝、SGでは5節中4節で予選を突破し、3年ぶりのGP参戦を果たす。20年には1stから優出した経験もあり。

16位 佐藤 翼(埼玉)



**[勝率]**  
 24年:7.26  
 近況:7.59  
 住之江:7.03  
 この秋は大活躍! ダービーで準優勝、チャレンジカップでも優出して初出場を果たす。住之江でも先日の高松宮記念で優出。

17位 瓜生 正義(東京)



**[勝率]**  
 24年:7.29  
 近況:7.25  
 住之江:7.88  
 『走る選手代表』はまだまだ一線級。住之江でのGPではV2。とくに21年はまくりで大波乱を呼んだ。その再現をもくろむ。

# 舟券直結データで グランプリを大攻略

POWERED by



## DATA-1 ターンランキング

※レースタイム(3周)から展示タイム×6を引くことにより、ターンにかかった時間を算出したもの

ターン力順位	賞金順位	登番	選手名	支部	平均値
1位	2位	4238	毒島 誠	群馬	70.8
2位	5位	4320	峰 竜太	佐賀	70.9
3位	18位	4719	上條 暢嵩	大阪	71.0
4位	4位	4418	茅原 悠紀	岡山	71.2
5位	17位	3783	瓜生 正義	福岡	71.3
5位	12位	4851	関 浩哉	群馬	71.3
7位	7位	3960	菊地 孝平	静岡	71.4
7位	1位	4262	馬場 貴也	滋賀	71.4
9位	6位	3941	池田 浩二	愛知	71.5
9位	11位	5121	定松 勇樹	佐賀	71.5
11位	14位	3415	松井 繁	大阪	71.6
12位	3位	4444	桐生 順平	埼玉	71.7
13位	15位	4371	西山 貴浩	福岡	71.8
14位	9位	4445	宮地 元輝	佐賀	72.0
15位	16位	4573	佐藤 翼	埼玉	72.1
16位	10位	4362	土屋 智則	群馬	72.2
17位	13位	4494	河合 佑樹	静岡	72.4
18位	8位	4337	平本 真之	愛知	72.6

## DATA-2 イン1着時の2着傾向

※対象の選手がインコースで勝ったときに2着に入線したコースの割合を集計したものの

【1-2タイプ】逃げを打つ際、早めにターンマークに寄る  
【1-3タイプ】張り逃げや目いっぱい落として差し場を塞ぐ

登番	選手名	①-②	①-③
4262	馬場 貴也	36.0%	27.2%
4238	毒島 誠	28.7%	29.7%
4444	桐生 順平	30.9%	29.4%
4418	茅原 悠紀	39.1%	21.8%
4320	峰 竜太	24.8%	38.6%
3941	池田 浩二	33.3%	33.3%
3960	菊地 孝平	37.6%	34.1%
4337	平本 真之	46.1%	22.4%
4445	宮地 元輝	29.8%	25.0%
4362	土屋 智則	37.2%	28.2%
5121	定松 勇樹	36.6%	24.7%
4851	関 浩哉	35.9%	30.8%
4494	河合 佑樹	38.4%	28.3%
3415	松井 繁	34.4%	31.1%
4371	西山 貴浩	39.0%	36.0%
4573	佐藤 翼	28.2%	28.2%
3783	瓜生 正義	20.6%	41.2%
4719	上條 暢嵩	32.2%	26.7%

■ =特に占有率が高い選手

### 2024/12/17 トライアル1st 11R

枠番	選手名	VERY SLOW	SLOW	FAST	EXTREME
1	平本 真之	15.9%	26.3%	28.2%	29.6%
2	宮地 元輝	9.7%	23.5%	31.9%	34.9%
3	関 浩哉	16.6%	30.6%	33.8%	19.0%
4	河合 佑樹	9.4%	22.7%	36.1%	31.9%
5	佐藤 翼	16.9%	33.4%	30.8%	18.8%
6	瓜生 正義	34.2%	30.5%	20.6%	14.7%



## DATA-3 仮想AIスリット

※スタートの早さを4段階で区分し、そこに当てはまる確率をAIが予測している。1区間あたり0.0375秒(1/4艇身)。例えば宮地元輝のEXTRIME34.9%であれば、1/3くらいでとても早いスタートを決める可能性があると言われる。初日の枠番が決定したトライアル1st11Rと12R、トライアル2ndは本来2つのレースに分かれるが、ここではベスト6をひとつのレースと仮定して、仮想のAIスリットを組んでみた。

### 2024/12/17 トライアル1st 12R

枠番	選手名	VERY SLOW	SLOW	FAST	EXTREME
1	菊地 孝平	9.0%	13.1%	25.7%	52.2%
2	土屋 智則	15.6%	27.7%	33.2%	23.5%
3	定松 勇樹	15.3%	26.7%	37.6%	20.4%
4	松井 繁	21.7%	37.0%	30.1%	11.2%
5	西山 貴浩	17.0%	36.0%	30.0%	17.0%
6	上條 暢嵩	32.1%	31.5%	23.6%	12.9%



### 2024/12/19 トライアル2nd(ベスト6)

枠番	選手名	VERY SLOW	SLOW	FAST	EXTREME
1	馬場 貴也	13.4%	24.3%	28.6%	33.7%
2	毒島 誠	17.7%	29.7%	31.8%	20.8%
3	桐生 順平	17.0%	33.6%	34.7%	14.7%
4	茅原 悠紀	9.2%	31.6%	34.9%	24.2%
5	峰 竜太	10.8%	31.6%	32.3%	25.3%
6	池田 浩二	19.1%	29.1%	26.7%	25.1%



# THE GRAND PRIX

## 39th in Boat Race SUMINOE

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4362	土屋 智則	1	6.79	68.8%	82.8%	91.0%
		2	6.80	18.8%	53.4%	71.6%
		3	6.80	18.0%	44.0%	66.0%
		4	6.80	11.5%	38.5%	62.2%
		5	6.81	11.1%	35.7%	58.7%
		6	6.83	6.3%	12.5%	29.2%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4262	馬場 貴也	1	6.75	83.0%	88.2%	91.3%
		2	6.77	26.8%	58.2%	70.6%
		3	6.77	29.3%	53.3%	72.5%
		4	6.79	18.3%	47.0%	67.7%
		5	6.78	16.3%	35.3%	57.5%
		6	6.79	7.2%	20.0%	40.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
5121	定松 勇樹	1	6.76	72.3%	81.9%	89.8%
		2	6.76	27.4%	58.5%	74.8%
		3	6.78	23.3%	49.3%	66.0%
		4	6.77	21.4%	41.0%	67.7%
		5	6.77	17.1%	37.7%	54.1%
		6	6.79	6.0%	26.1%	49.3%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4238	毒島 誠	1	6.78	81.8%	89.7%	92.5%
		2	6.82	30.9%	61.8%	75.7%
		3	6.81	31.9%	59.6%	74.5%
		4	6.82	21.8%	42.9%	61.7%
		5	6.82	18.1%	37.7%	55.8%
		6	6.83	1.4%	15.1%	28.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4851	関 浩哉	1	6.76	75.5%	85.8%	92.6%
		2	6.76	23.3%	54.7%	74.8%
		3	6.77	27.8%	50.7%	70.1%
		4	6.78	15.7%	46.5%	71.7%
		5	6.78	13.3%	41.8%	63.9%
		6	6.78	3.1%	27.7%	50.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4444	桐生 順平	1	6.75	76.0%	89.7%	92.6%
		2	6.77	19.8%	53.4%	73.3%
		3	6.78	21.9%	48.4%	69.5%
		4	6.78	12.5%	42.6%	68.4%
		5	6.77	15.4%	35.8%	63.4%
		6	6.80	2.2%	17.6%	56.0%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4494	河合 佑樹	1	6.77	73.9%	88.1%	94.2%
		2	6.77	20.1%	50.6%	71.3%
		3	6.78	17.5%	57.6%	80.2%
		4	6.79	18.1%	47.3%	68.1%
		5	6.79	11.7%	36.8%	60.1%
		6	6.79	4.8%	19.4%	42.7%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4418	茅原 悠紀	1	6.76	74.8%	84.2%	91.1%
		2	6.76	25.7%	56.4%	73.6%
		3	6.74	29.2%	61.3%	81.8%
		4	6.76	18.7%	48.9%	77.0%
		5	6.77	13.2%	31.6%	59.9%
		6	6.77	1.7%	17.4%	47.1%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
3415	松井 繁	1	6.79	70.4%	86.9%	91.5%
		2	6.82	18.0%	43.5%	64.0%
		3	6.81	14.2%	40.0%	68.9%
		4	6.82	6.8%	29.2%	61.5%
		5	6.81	2.7%	18.7%	41.3%
		6	6.85	0.0%	4.8%	38.1%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4320	峰 竜太	1	6.74	84.7%	93.1%	95.6%
		2	6.74	29.7%	68.8%	87.5%
		3	6.77	39.5%	65.1%	79.1%
		4	6.76	20.7%	56.4%	80.7%
		5	6.77	21.2%	53.5%	74.7%
		6	6.77	10.6%	23.4%	46.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4371	西山 貴浩	1	6.85	73.5%	86.1%	92.0%
		2	6.84	11.3%	46.3%	66.3%
		3	6.85	17.9%	44.5%	63.6%
		4	6.85	15.3%	35.4%	60.3%
		5	6.85	7.0%	24.1%	51.3%
		6	6.85	2.4%	9.4%	32.9%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
3941	池田 浩二	1	6.77	83.0%	94.3%	95.8%
		2	6.77	31.8%	73.5%	84.1%
		3	6.80	17.2%	62.7%	80.6%
		4	6.79	20.4%	57.5%	71.9%
		5	6.78	18.4%	39.7%	62.5%
		6	6.79	6.0%	15.7%	39.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4573	佐藤 翼	1	6.76	67.7%	85.4%	93.2%
		2	6.78	17.3%	55.6%	72.9%
		3	6.78	18.3%	46.4%	66.7%
		4	6.77	21.1%	49.7%	70.7%
		5	6.80	9.9%	30.3%	47.9%
		6	6.77	7.8%	20.3%	43.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
3960	菊地 孝平	1	6.76	71.8%	83.7%	88.1%
		2	6.77	17.2%	47.0%	64.2%
		3	6.78	18.8%	45.0%	62.4%
		4	6.77	22.2%	45.8%	67.4%
		5	6.77	14.0%	32.0%	47.3%
		6	6.79	6.7%	20.0%	37.1%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
3783	瓜生 正義	1	6.79	64.4%	80.4%	87.6%
		2	6.77	20.9%	52.7%	72.3%
		3	6.79	21.2%	52.7%	69.2%
		4	6.80	10.9%	41.0%	64.7%
		5	6.79	8.7%	35.3%	53.3%
		6	6.78	1.0%	15.2%	34.3%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4337	平本 真之	1	6.78	68.6%	87.8%	92.6%
		2	6.78	22.5%	44.2%	58.9%
		3	6.80	15.7%	43.1%	61.4%
		4	6.79	12.6%	37.1%	56.3%
		5	6.80	10.1%	32.4%	45.3%
		6	6.80	5.1%	15.3%	41.5%

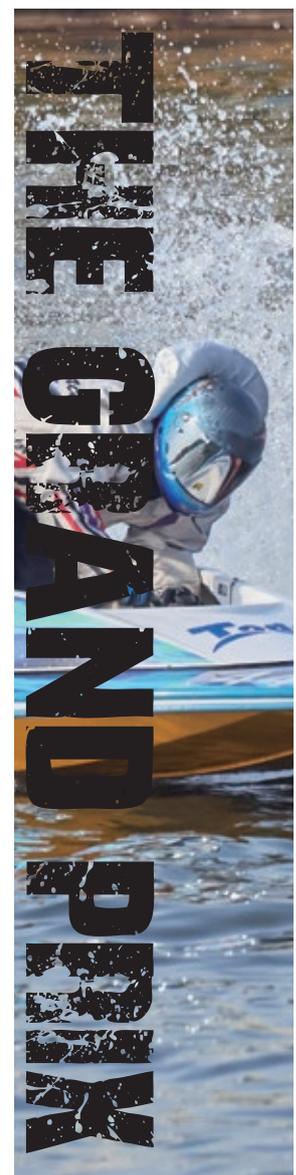
登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4719	上條 暢嵩	1	6.81	82.9%	91.7%	97.2%
		2	6.82	19.4%	58.2%	73.3%
		3	6.82	22.0%	51.6%	72.3%
		4	6.82	21.3%	49.4%	69.5%
		5	6.83	6.5%	24.6%	45.7%
		6	6.84	1.8%	15.6%	33.0%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4445	宮地 元輝	1	6.79	77.6%	88.0%	95.3%
		2	6.80	19.3%	50.4%	68.1%
		3	6.81	21.1%	53.9%	71.1%
		4	6.78	17.6%	37.3%	60.8%
		5	6.80	12.1%	30.9%	55.0%
		6	6.80	1.7%	15.4%	34.2%

### DATA-4

#### 展示 コンディション データ

※本来は普段の展示タイムと直前の展示タイムを比較し、選手のコンディションを測るもの。ここではその指標となる各選手のコース別展示タイムの平均とコース別入着率を公開する。本番の展示タイムと比較して活用いただきたい。



# 地元番記者が厳選 住之江の注目エンジンを丸裸に!!

23 号機	評価 A	53 号機	評価 A	32 号機	評価 S	56 号機	評価 S	62 号機	評価 S
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
46.7%	↑	46.9%	→	45.9%	↑	47.0%	→	47.4%	→
温水パイプ装着から上り調子。行き足を中心に迫り満点な動きを見せる。		3月には瓜生正義がGI優勝。トータルバランスが良くしてポテンシャルは高い。		11月の高松宮記念で茅原悠紀が準完全V。GPでもこの機を熱望している。		年間通して圧倒的なパワーを披露。完全に伸び型のエンジンで破壊力は随一。		馬場貴也がGI優勝戦でセット交換からのV。気配一変でエース格に浮上。	

17 号機	評価 A	54 号機	評価 A	12 号機	評価 A	15 号機	評価 A	36 号機	評価 A
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
38.1%	→	41.8%	↑	38.5%	→	41.5%	→	50.6%	↑
伸びることはないがターン系統を中心に好内容。GPに出場しても戦えるエンジン。		乗り手に恵まれず優出は少ないが2連対率がパワーを証明。隠れた上位機。		秘めるパワーは上位機にも見劣らない。完璧に仕上がれば台風の目になりそう。		オール大阪で馬野耀の活躍が印象的。行き足から伸び寄りパンチがある。		常に2連対率は上位の安定感。バランス型で乗り手を問わないのが強み。	



## 56号機と62号機がトップクラス! 注目は高松宮記念準完全Vの32号機

現行エンジンは初下ろしの3月から約9か月使用されたことにより、概ねの相場は固まっていると言えるだろう。序盤からエース機と評判だった56号機は変わらず伸び中心に強烈なパワーを披露しているが、現在はこの56号機に肩を並べると評判なのが62号機だ。6月に馬場貴也が記念の優勝戦では異例のセット交換を敢行して優勝したエンジンだが、その後のパフォーマンスから判断しても今ならトップ級のパワーは明らかだ。

近況で最も注目を集めるのは32号機。当地ではグランプリの前哨戦ともいえる11月の高松宮記念では茅原悠紀が7連勝で準完全Vを達成。その表彰式では「グランプリでもこれ(32号機)を引きまます」とファンの前で堂々宣言。現状で

は最も勢いがあるエンジンだけに、このまま一気に栄冠を掴む可能性も十分だ。

この上位3機に続くのが36号機、53号機になりそう。どちらもパンチという点では上位機に見劣るが、実戦型で安定したパフォーマンスを披露してくるはず。23号機、15号機も行き足から直線系にパワーを見せるだけに、しっかりと合わせる事ができれば面白さがあり、最後に勝率を上げてきた22号機も侮れない。その中でグランプリに出場してくる上位18機では少し怪しいと感じるのが58号機と33号機。どちらも正味のパワーは中堅か中の下ぐらいで、これを引き出した選手は苦戦するかもしれない。(安達弘持)

# THE GRAND PRIX

39th in Boat Race SUMINOE



## 住之江水面で 笑う選手 泣く選手

表7 出場選手の昨年と今年の住之江SG・GI実績

順位	選手名	2023年				2024年		
		近畿地区	高松宮	GPS	GP	67周年	68周年	高松宮
1	馬場 貴也	優勝			順位2		優勝	準3
2	毒島 誠		準5		S準5	×	準3	
3	桐生 順平		⑤		順位4			
4	茅原 悠紀				④			優勝
5	峰 竜太		優勝		②			
6	池田 浩二				⑤			
7	菊地 孝平		②		順位5	準6	②	
8	平本 真之				転			
9	宮地 元輝			×			×	×
10	土屋 智則		×		S準6			×
11	定松 勇樹							②
12	関 浩哉		×	④		×		
13	河合 佑樹		×	×				
14	松井 繁	準3	準3	準4		準3	④	準5
15	西山 貴浩			準3			×	
16	佐藤 翼			⑤		×		⑥
17	瓜生 正義		×	準3		優勝		
18	上條 暢嵩	準5	×	×		④	準3	

(※丸数字は優勝戦での着順、「準」は準優での着順、×は予選落ち、空欄は不出場)

住之江の水面といえば、相性の良し悪しが出やすい水面と言われてきた。それでも最近は「得意・不得意の差はなくなってきたのでは？」という声も聞かれるようになったが、本誌『データLABO』的には「まだ看過できないほどの差がある」と提案しておく。

まず当地を誰よりも得意としているのは峰竜太だ。20年以降、出走した節全てで優出。どうしても21年GPでの妨害失格の印象が強いが、その後も昨年9月の高松宮記念を快勝、グランプリも準優勝と全く崩れていない。

馬場貴也も昨年の近畿地区選、今年6月の68周年を圧勝。茅原悠紀は昨年のグランプリ4着に続

き、先日の高松宮記念では準パーフェクトV。まさに圧勝だった。

1st組では、まず菊地孝平に警戒を。大きなタイトルこそないが、昨年の高松宮と68周年で準優勝。武器のスタートも切れている。平本真之は20年以降のGP4回のうち、住之江での3開催で連続優出中。昨年も1stからだだどりと優出を果たしている。

21年GPの大波乱の主役・瓜生正義は、16年にもGPを制しており、今年3月の67周年でも優勝とドル箱にしている。松井繁に往年の力を期待するのは酷だが、最近の記念でも予選落ちがないのはさすが。コース取りから要注意だ。

住之江で成績を残せていない選

今年も進入で動く選手が出そう。要注意だ。



6月の住之江68周年を制した馬場貴也



手の方では、まず毒島誠。ナイター整備には定評があるのだが、当地では準優の壁を突破できていない。土屋智則は予選落ちが続いている。レースを見ると、スタートは行くがターンがかみ合わない印象だ。さらに苦しんでいるのが宮地元輝。こちらは一般戦を含めても予選落ちが続いている。水面克服は大きな課題だ。



# 5年連続で 優勝戦のインが苦杯…

## グランプリ GP シリーズ

昨年TR1stから回った深谷知博が優勝

まずは、複雑な思いでチャレンジカップを見ていたであろう山口剛と丸野一樹。ともにF休みで出場権がなく、戦前は17・18位だったが2選手に抜かれ、19・20位となったこのシリーズ回りになった。山口は22年からSG優出7回を重ね、そのうち今年のオーシャンカップを含めた4回が準優勝だった。これだけの実績がありながらSG優勝はまだ1冠。早く二つ目のSGが欲しい。丸野の今年の優勝3回は全てグレードレースで、9・10月のGIIとGI2勝。波の大きなタイプだが、リズムに乗ったら手がつけられない。

谷知博と、同じく昨年は2ndメンバーだった磯部誠は、チャレンジカップでは仕上がりが切らず選落ち。しかし地力やここ数年の成績から見ると、この両者も優勝候補の一角として挙げるべきだろう。近況から要注意なのは吉田拓郎だ。夏まではサッパリでチャレンジカップにも参戦できなかったが、10・11月にびわこGIIから多摩川GIと連続制覇。エンジン抽選運に加え、調整も当たっている。

**CC休みの両戦士が逆襲!**  
ひと月前のチャレンジカップでは、準優に賞金19位以下の選手が12人も乗ったが、このグランプリシリーズには再び、19位以下の42選手が参戦して覇を競う。

**近況急上昇の吉田拓郎**  
かつて準優勝。惜しくも逆転GP入りまでは届かなかったが、まだまだ強いところを見せた。過去のこのレースで常に好成績を残してきたのが篠崎元志。10回の出場で6回もの優出経験があり、12年に優勝。昨年も大外から準優勝に食い込んだ。SGの優勝からは9年以上遠ざかっているだけに、そろそろ復活の舞台としたい。

節間を通して毎日、“露払い”を務めるのがこちらのメンバーによるシリーズ戦。3日目からはTR1stから転戦してくる選手が合流し、戦力比較がいつそう難解になる。さらに当レースの優勝戦は波乱の連続。5年連続でインが負け続けている。その連鎖は今年も続くのか、久々にインが復権を果たすのか—!?



このレースを2回制している新田雄史

表8 最近10回のGPシリーズ戦優勝選手 ※青字はGPのTR1stからの転戦組

回	年	開催地	1着	進入	2着	進入	3着	進入	4着	進入	5着	進入	6着	進入	3連単	配当	決まり手
29	2014	平和島	平本 真之	5	瓜生 正義	1	平田 忠則	4	桐生 順平	2	篠崎 元志	6	濱野谷憲吾	3	④①③	12540円	まくり
30	2015	住之江	長田 頼宗	1	瓜生 正義	5	井口 佳典	6	吉川 元浩	2	西山 貴浩	3	松井 繁	4	①④⑥	3040円	逃げ
31	2016	住之江	今垣光太郎	1	重成 一人	3	寺田 祥	6	齊藤 仁	2	白井 英治	4	石渡 鉄兵	5	①③⑥	2410円	逃げ
32	2017	住之江	新田 雄史	1	田中信一郎	4	前本 泰和	2	湯川 浩司	5	中島 孝平	6	深川 真二	3	①②④	1820円	逃げ
33	2018	住之江	平尾 崇典	1	新田 雄史	2	山田 康二	3	中野 次郎	4	石野 貴之	6	湯川 浩司	5	①③④	1380円	逃げ
34	2019	住之江	馬場 貴也	3	永井 彪也	6	篠崎 元志	4	西村 拓也	2	西山 貴浩	5	木下 翔太	1	③⑥④	55890円	まくり差し
35	2020	平和島	深川 真二	2	坂口 周	3	池田 浩二	1	前本 泰和	4	石渡 鉄兵	6	秦 英悟	5	②③①	9530円	差し
36	2021	住之江	新田 雄史	3	中島 孝平	1	岡崎 恭裕	5	上野真之介	6	転・篠崎元志	4	妨・西山貴浩	2	③①⑤	6040円	まくり差し
37	2022	大村	宮地 元輝	3	毒島 誠	1	瓜生 正義	2	島村 隆幸	4	濱野谷憲吾	5	石野 貴之	6	③①②	10460円	まくり差し
38	2023	住之江	深谷 知博	2	篠崎 元志	6	前田 将太	4	関 浩哉	1	佐藤 翼	3	岡崎 恭裕	5	②⑥④	38470円	まくり

# THE GRAND PRIX

## 39th in Boat Race SUMINOE

表9 グランプリシリーズ 出場予定選手

順位	登番	選手名	支部	2024年の成績(～11/24)			住之江	
				勝率	優出	優勝	勝率	優出
19	4205	山口 剛	広島	7.55	8	2	6.20	2年連続12回目
20	4686	丸野 一樹	滋賀	7.01	10	3	6.74	4年ぶり3回目
21	3942	寺田 祥	山口	6.99	11	2	7.55	4年連続16回目
22	4030	森高 一真	香川	6.81	6	1	6.04	2年連続12回目
23	4504	前田 将太	福岡	7.30	12	2	7.06	3年連続8回目
24	4459	片岡 雅裕	香川	6.73	8	2	6.50	3年ぶり5回目
25	4166	吉田 拓郎	岡山	7.11	10	5	6.93	2年連続9回目
26	4685	島村 隆幸	徳島	7.19	10	5	6.80	2年ぶり2回目
27	4350	篠崎 元志	福岡	7.19	10	5	7.22	8年連続11回目
28	4524	深谷 知博	静岡	6.80	5	1	7.00	2年連続5回目
29	4932	新開 航	福岡	6.84	13	3	4.86	3年連続3回目
30	4586	磯部 誠	愛知	6.92	5	2	6.67	3年ぶり5回目
31	4503	上野真之介	佐賀	7.71	16	5	7.42	7年連続7回目
32	4502	遠藤 エミ	滋賀	7.15	10	4	6.13	2年ぶり6回目
33	4939	宮之原輝紀	東京	7.05	7	1	7.26	初出場
34	3978	齊藤 仁	東京	6.79	11	0	7.42	6年ぶり6回目
35	4760	山崎 郡	大阪	7.13	12	2	6.70	4年連続4回目
36	3716	石渡 鉄兵	東京	6.41	11	2	7.06	2年連続13回目
37	3959	坪井 康晴	静岡	6.87	8	0	6.82	2年連続14回目
38	3946	赤岩 善生	愛知	6.81	10	2	6.44	4年連続16回目
39	4397	西村 拓也	大阪	6.91	13	2	7.03	2年連続8回目
40	3590	濱野谷憲吾	東京	7.10	6	1	7.72	2年ぶり11回目
41	4914	吉田 裕平	愛知	7.15	9	4	6.33	初出場
42	4024	井口 佳典	三重	6.82	5	1	6.00	3年連続9回目
43	4364	池永 太	福岡	7.08	17	5	7.42	5年ぶり3回目
44	4013	中島 孝平	福井	6.65	5	0	7.16	2年ぶり9回目
45	4266	長田 頼宗	東京	6.72	4	1	6.17	10年連続11回目
46	4208	三浦 永理	静岡	7.55	19	5	7.11	11年ぶり4回目
47	4547	中田 竜太	埼玉	6.97	7	1	6.42	2年連続6回目
48	4500	山田 康二	佐賀	7.47	8	3	8.36	2年連続4回目
49	3779	原田 幸哉	長崎	6.74	6	3	6.37	4年ぶり14回目
50	4497	桑原 悠	長崎	6.77	12	4	6.67	2年連続4回目
51	4361	柳生 泰二	山口	6.86	10	2	6.67	初出場
52	4856	豊田健士郎	三重	6.78	12	8	7.36	初出場
53	4762	藤原啓史朗	岡山	6.81	7	2	6.47	2年連続2回目
54	4290	稲田 浩二	兵庫	7.07	8	3	6.26	2年ぶり5回目
55	4848	仲谷 颯仁	福岡	7.08	12	3	6.75	2年ぶり5回目
56	4324	海野康志郎	山口	7.25	16	4	5.17	5年ぶり2回目
57	4344	新田 雄史	三重	7.03	7	4	7.11	3年ぶり11回目
58	4847	佐藤隆太郎	東京	7.16	14	7	6.57	初出場
59	4398	船岡洋一郎	広島	6.99	14	7	7.08	2年ぶり2回目
60	5084	末永 和也	佐賀	6.79	7	2	0.00	初出場
予備1	3744	徳増 秀樹	静岡					
予備2	3918	深井 利寿	滋賀					
予備3	4546	浜田亜理沙	埼玉					



今年8回の優勝をマークして初参戦の豊田健士郎 この秋急上昇を示している吉田拓郎



山崎郡は近畿チャンプとしてSG初優出に挑む このレースでは実績最上位クラスの篠崎元志



地元大阪勢では、今年も山崎郡と西村拓也が乗ってきた。ともに昨年までは無冠だったが、山崎は今春近畿地区選を勝って殻を破った。今年はSG初優出を目指す。また選考順位が下位でも、初出場の選手たちには新たな期待が集まる。吉田裕平・豊田健士郎・佐藤隆太郎・末永和也と並ぶ。11月にGI覇者となったばかりの吉田はもちろん、優勝8回の豊田もダイクホースではないか。

しかし下位グループで最も怖いのは、このレースを2回制している新田雄史だ。21年の優勝戦のように混戦となると、その冷静さと決め手がキラリと光る。

**今年は優勝戦で何か起きる!?**

そして毎年、比較が難しいのが、

3日目から転戦してくるGPのTR1st敗退組の選手たちだ。ここで前ページの表8を見ていたように、TRが2ステージ制になった最近10年の優勝戦結果だが、8年までは1stからの転戦組の優勝はなし。しかし19年に馬場貴也が優勝を飾ると、最近5年では3回が1st組の優勝となっている。

そしてもう1点注目すべきは、ここ5年間、優勝戦でインが負け続けていることだ。配当の方も大荒れで3回は万舟決着。一昨年は宮地元輝が当レース初参戦でいきなり優勝、昨年はインがまさかのドカ遅れで2コースが難なくまくった。少々不思議なことが続いているのがこのシリーズの優勝戦。その流れは今年も続くのか?